

DX、進んでいます！

書かないワンストップ窓口(総合窓口)

引っ越した時に必要な手続きが一カ所のできる総合窓口を令和7年1月から始めています。住所変更の届け出と併せて国民健康保険の住所変更や児童手当の手続きなどを一カ所で受け付けます。これまで申請書ごとに何度も書いていた住所や氏名も1回のサインで済むようになりました。

※総合窓口での受け付けには、一定の条件があります

待ち時間も有効活用できます

受け付け後の処理状況がオンラインで確認できるようになりました。受付票の二次元コードをスマートフォンで読み込めば、外出先からでも自分の手続きの処理状況が確認できるので、待ち時間も有効に活用できます。



▲市HP



市役所本館1階 総合窓口

オンラインやコンビニでできる手続き

市役所に行かなくてもできるオンライン手続きを順次、拡大しています。運動施設などのオンライン予約にも対応。マイナンバーカードがあれば、住民票などをコンビニエンスストアで取得できます。



▲オンライン
手続きの案内



▲公共施設予約
システム



▲証明書コンビニ
交付サービス



市役所のDX

業務にタブレットを導入

市役所の業務もデジタル技術を活用して効率化を図っています。これまで紙で行っていた介護認定調査にタブレット端末を導入し、認定審査にかかる日数の短縮を図っています。



生成AIの活用

生成AIを安全に利用できるサービスを導入し、業務での生成AIの活用を進めている他、AIを活用した音声データをテキスト化するサービスを導入して、会議録の作成などに活用しています。



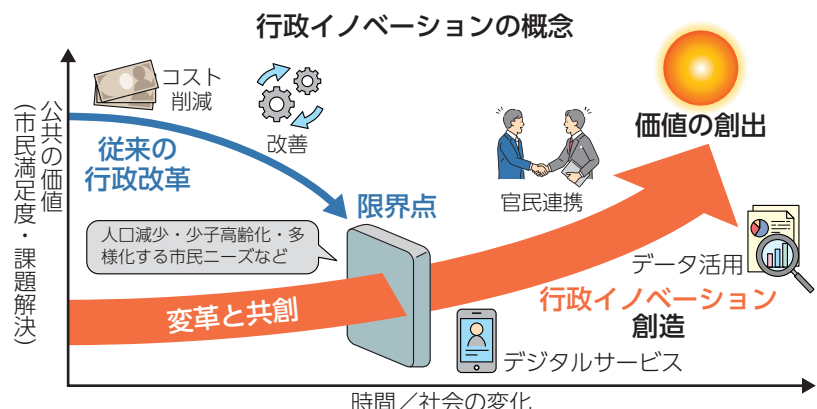
行政イノベーションの取り組みを進めます

行政に新たな考え方や技術を取り入れて、市民満足度の向上と社会課題の解決につながる新たな価値を生み出す行政イノベーション。

本市では、行政イノベーションに取り組む基本方針を本年6月に策定しDXと一体的に全庁で推進します。



▲市HP



一人ひとりに寄り添う伊勢崎市へ DX推進計画を策定しました

人口減少や少子高齢化の進行、急速に進展するデジタル化など、行政サービスを将来にわたって維持しながら質の高い行政サービスを提供し、市民満足度を向上するためにはデジタル技術の活用を一層進める必要があります。「デジタルで、もっと身近に、もっと快適に。一人ひとりに寄り添う伊勢崎市へ」とは、本年7月に策定した伊勢崎市DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進計画で定めたDXで目指す将来の本市の姿です。地域の課題解決や生活の利便性を向上するため、デジタル技術を効果的に活用して市民の視点で行政サービスや暮らしを良い方向に変えるDXを進めます。

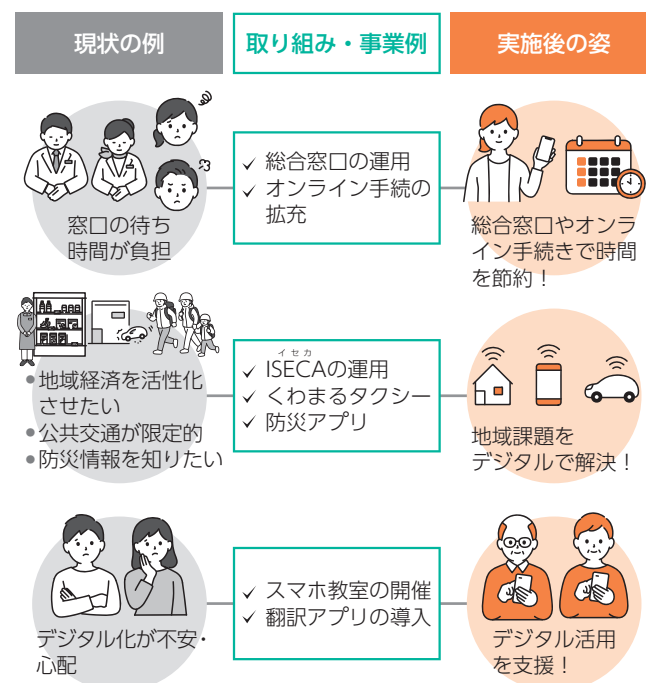
問 経営企画課(☎27-2707)



▲市HP

暮らしのDXと市役所のDXを進めます

暮らしのDX



市役所のDX

